

# 水土里ネットちば

Chiba Prefectural Federation of Land Improvement Association



九十九里町 元旦祈願祭の大鏡餅

2010  
WINTER

No.286

## CONTENTS

口絵「香取神宮の新年」

新年のご挨拶	1
戸別所得補償制度について	2
新たな用水・排水方法にチャレンジ(フォアス)	4
耕作放棄地対策・耕作放棄地活用応援団	6
いずみグリーンビレッジ事業の推進「下田農業ふれあい館」	8
ちば水土里ネット女性の会「そば打ち体験」に参加して	10
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2009 入賞者決定	12
寅年の人達の新年の抱負	14
印旛沼ウォーク	16

# 香取神宮の新年



御本殿

下総国一の宮である香取神宮は祭神に経津主大神を奉り、古来より国家鎮護の神として崇拝されております。



楼門



総門



石鳥居



大鳥居



鳥居河岸 (津宮浜鳥居)

その香取神宮のかつての表参道口であった利根川沿いの鳥居河岸 (津宮鳥居)。河岸には鳥居が静かに立っていて、利根川の水運が盛んだった頃を偲ばせます。

現在の社殿は元禄13年 (1700) 徳川綱吉によって造成され、本殿・楼門は国の重要文化財となっております。

新年は多くの参拝客で賑わい、正月三が日でおよそ50万人の参拝客が訪れます。1年で最も賑やかな時期で、露店も参道沿いに軒を連ねます。

朱塗りの大鳥居、総門、楼門を抜けて、桧皮葺で黒塗りの拝殿へ。拝殿の前では、それぞれ今年1年の願い事を祈るのです。

千葉県香取農林振興センター

地域振興部 企画振興課 横田 陽生

よこた あきなり

# 新年のご挨拶

## 未来ある農業経営を期待

水土里ネット千葉  
千葉県土地改良事業団体連合会  
会長 菅谷 健一



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は本会の業務運営に会員の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界的に100年に一度と言われる金融経済危機を反映し、デフレ経済の進行や格差社会の進行に加え、新型インフルエンザが蔓延するなど、何かと暗いニュースの多い年でありました。

一方、8月に行われた衆議院総選挙では、民主党が圧勝し歴史的な政権交代がなされました。そして、鳩山内閣発足とともに、ほどなく開始された行政刷新会議の事業仕分けでは、かんがい排水事業については、予算縮減と判定され、農道整備事業については、「歴史的使命を終えた」とされ、廃止が決定されたところ です。

農業経営には農業用水が不可欠であります。農業用水を供給する社会資本ストックの劣化は回避しなければならないし、農道にあっても既に着工しているものについては、最後まで完成させなければならないでしょう。

政権交代による大きな変革の中で今、農家の戸別補償制度など今後の農業政策が大きな焦点のひとつとなっておりますが、我々土地改良に携わる者に限らず、国民はこれ以上わが国の農地の荒廃と農業を衰退させてはならないと思っております。日本の農業所得は、この15年間でほぼ半減しております。農業を「食べていける産業」にしなければ、耕作放棄地の解消も、担い手の確保もできません。農業農村がこれ以上衰退することのないような新たな政策を期待するところです。

安心で安全な食料を安定的に消費者に供給するため、地域農業の発展と活性化のため、さらに、美しい景観にあふれた国土の形成など多面的機能を維持するため、水土里ネットが、「水」「土」「里」という地域資源を担うリーダーとしてご活躍されることを期待しております。

終わりに、本年も関係機関のなお一層のご指導、ご支援をお願いいたしますとともに、会員各位の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とします。

4月から

# ～米の戸別所得補償

是非!新しい制度に参加して経営

日ごろより、本県の農業発展にご尽力いただきありがとうございます。

国は、食料自給率の向上を図るため、麦、大豆、米粉用米、飼料用米などの生産に取り組んだ場合に助成する「自給率向上事業」と、農業経営の安定を図るため、恒常的に赤字に陥っている米づくりに対して補償する「米モデル事業」(生産調整達成者を対象)をセットで行います。

## 平成22年度の新たな国の支援策

目標達成の如何にかかわらず!

自給率向上事業

水田で、麦・大豆・米粉用米・飼料用米・加工用米などを作付すると!

作物	単価(10アール当たり)
麦・大豆・飼料作物(水田経営所得安定対策加入者の加算額)	3.5万円 [ 小麦(田)4.0万円 大豆(田)2.7万円 ]
新規需要米(米粉用・飼料用・WCS用稲)	8.0万円
そば、なたね、加工用米	2.0万円
その他作物(今後県で単価を設定します)	1.0万円
二毛作助成(主食用米と戦略作物又は、戦略作物同士の組み合わせ)	1.5万円

「その他の作物」の単価や激変緩和措置に伴う単価は、2～3月頃に具体化する予定です。

「捨て作り」には交付されません。収穫や出荷を行うことが必要です。

水田経営所得安定対策の固定払の交付を受けている農家が、麦・大豆から作付転換して、今年から新たに新規需要米を生産し助成を受けようとする場合、麦・大豆からの作付転換分に相当する固定払の交付申請を行わないことが必要です。

戦略作物とは、麦・大豆・飼料作物・米粉用米・飼料用米・WCS用稲・そば・なたね・加工用米のことです。

米モデル事業

生産数量目標(生産調整)に即して主食米を作付すると!  
作付面積10アール当たり1万5千円の交付金を受けられます!

目標の達成が必要です!  
農家の負担金は必要ありません!

交付単価(全国一律)

定額部分 (10a当たり)	1.5万円 (恒常的なコスト割れ相当分の助成)
------------------	----------------------------

+

変動部分 (10a当たり)	22年度産の販売価格が、過去3年の販売価格の平均(12,000円/60kg)を下回った場合にその差額を基に算定
------------------	---

交付対象者

「生産数量目標」の範囲内で主食用米の生産を行った販売農家・集落営農のうち、水稻共済加入者

交付対象面積

主食用米の作付面積から、自家飯米・縁故米用に供される分として一律10アールを差し引いた面積

調整水田などの不作付地を有している場合、不作付地となっている水田の地番・面積・改善計画などを市町村に提出し認定を受ける必要があります。

水田経営所得安定対策における収入減少影響緩和対策(ナラシ)に加入している場合、米のモデル事業における変動部分の交付金額を控除してナラシの補てん額が算定されます。

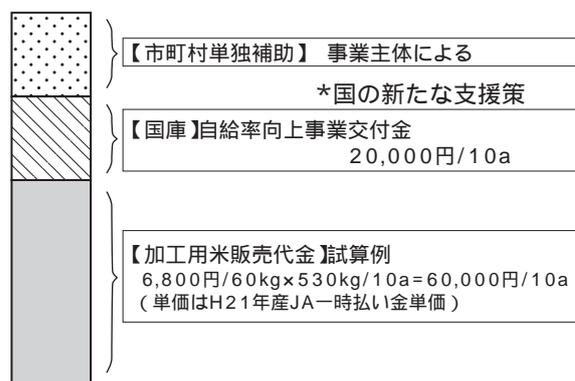
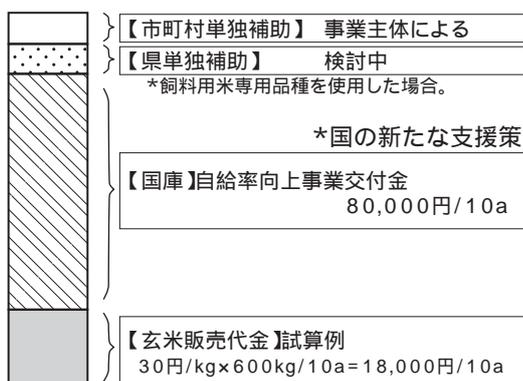
# 制度について～

の安定を図りましょう!

平成22年1月  
千葉県農林水産部  
千葉県水田農業推進協議会

## 1 自給率向上事業の支援イメージ

1) 飼料用米・米粉用米・WCS用稲を作付すると! 2) 加工用米を作付すると!



支援イメージは、参考までに昨年度の収穫量・販売単価等を基に算定したもので、本年度の収入額になるものではありません。

## 2 米モデル事業の支援イメージ

仮に、水田面積1haを耕作する方が

1) 米のモデル事業に参加して水稲と飼料用米を作付すると!

品目	項目	価格(円/60kg)	価格(円/10a)	面積(a)	収入額(円)	備考
水稲	販売代金(530kg/10a)	12,000	106,000	70	742,000	
	米のモデル事業(国)		15,000	60	90,000	定額分(70a-10a)
	〃		0	60	0	変動分
	小計				832,000	
飼料用米	販売代金(600kg/10a)	1,800	18,000	30	54,000	
	自給率向上事業(国)		80,000	30	240,000	
	県単独補助事業		3,000	30	9,000	(昨年の支援例)
	市町村単独補助事業		0	30	0	
	小計				303,000	
計					1,135,000	

試算条件	
・主食米の平均的販売価格	12,000円/60kg
・飼料用米の販売価格	1,800円/60kg
・主食用米の単収	530kg/10a
・飼料用米の単収	600kg/10a
・転作率	30%

2) 米のモデル事業に参加しないで作付すると!

品目	項目	価格(円/60kg)	価格(円/10a)	面積(a)	収入額(円)	備考
水稲	販売代金(530kg/10a)	12,000	106,000	100	1,060,000	
	計				1,060,000	

結果 1,135,000円 - 1,060,000円 = 参加すると約7万5千円の収入アップ!

## 3 加入申し込み・支払い時期

交付金を受け取るためには、加入申込書、交付申請書などの提出が必要となります。交付金は、国から農業者が指定した口座に直接支払われます。

今年こそ  
取り組む  
チャンスだ!



詳細は、**関東農政局千葉農政事務所食糧部計画課 TEL043-224-5615**  
または、最寄りの**県農林振興センター**、**市町村**までお問い合わせください。

フォアス  
新たな用水・排水方法にチャレンジ

## 水田でFOEAS (地下かんがい方式) の実験

山武農林振興センター

平成20年度～21年度、東金市内の東中島地区においてフォアスの試験ほ場が設けられました。その結果を踏まえ、現在、区画整理工事を実施中の「経営体育成基盤整備事業 篠本新井地区（横芝光町 A=240ha）」において、地元農家の要望により、急遽、フォアスの試験ほ場を設け、実際にその効果を農家自身によって検証することになりました。

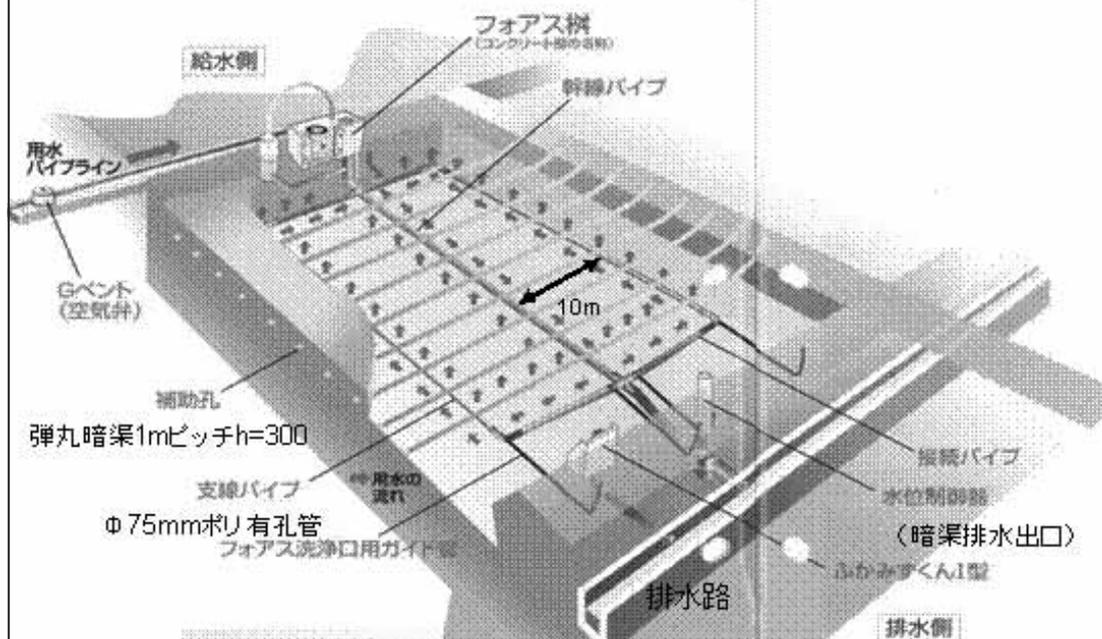
水土里ネットちば 2008年 No.281に掲載

### フォアスとは

水田の汎用化を容易に図るため、稲作・畑作に対応して“地下水位を自動的に一定に保つ”ことができる『新しい地下かんがい方式』です。

「農業新技術2008」に選定されており、平成18年度農林水産大臣賞を受賞しています。(工法の詳細は、農林水産省ホームページ内の“フォアス”を参照してください。)

フォアスシステムイメージ図



用水と暗渠排水を兼ねた有孔管を10mピッチで埋設し、フロートによる地下水位制御装置により、ほ場の地下水位を一定に保つよう自動的に給水、排水をおこなうシステムであり、水管理の低減・用水量の節約、容易な田畑輪換を図ります。

用水

代かきから中干しまでの時期は、バルブから通常どおり表面用水を行います。

中干し以降は、写真の細い管から、ほ場内に埋設された有孔管に通水し、地下かんがいを行ないます。

あらかじめ「地下水位制御器」で地下水位を設定(水稲の場合は、-5センチ程度)しておくと、自動的に給水、給水停止を繰り返し、一定の水位を保ちます。

畑作物栽培の場合は、それぞれの作物に適した地下水位に設定することが可能です。



排水

用水管が暗渠排水管を兼ねており、排水出口の水位制御機能により、地下水位が設定水位を越えた場合に自動的に排水します。(設定水位より低い場合は排水しません。)

このため、排水路の深さを浅くすることができるため、水路用地が少なく済む、維持管理が省力化できるメリットがあります。

課題

**事業費** 反当たり18万5千円程度(50a区画)とされています。  
(特許工法のため4千円/反程度の実施許諾を含みます。)

**弾丸暗渠** 地下水位を均等に保つため、1mおきに弾丸暗渠を設置する必要があります。  
代かき時にこれを潰さないように代かき深さを5センチ程度にします。

**地下水位の均等** 土質により水の浸透が異なるため、地下かんがい(田面下60センチ)が十分に表面近くまで届くか、一定の水位を保てるか、を検証する必要があります。

**栽培方法** 従来、7・8月の夏期に田の表面に水を張っていましたが、フォアスでは表面は乾いたままになります。雑草が生えない利点がありますが、従来と異なる栽培について検証が必要です。

**用水の節約  
水管理の省力化** 実際にどの程度、節水・省力化できるのか、水位設定の手間はどうか、水利権のない秋以降の麦・大豆等の栽培はどうか、の検証が必要です。

試験ほ場の取組み

上記の課題について、実際にどうか、篠本新井地区の農家自身で22年度実験栽培に取り組めます。

# 耕作放棄地対策 ・ 耕

## はじめに

農地は、農業生産にとっては基礎的な資源であり、食料の安定供給にとって重要な基盤です。しかし、近年、農家の担い手の減少や高齢化等により耕作放棄地が増加しており、病害虫の発生や有害鳥獣の繁殖など、農業生産への悪影響はもとより、農村景観の悪化や不法投棄の誘発など、様々な問題を起こしています。

## 耕作放棄地対策と耕作放棄地活用応援団

耕作放棄地は労力をかけて活用可能な農地に復元しても、その後の利用が円滑になされなければ、再び放棄される可能性があり、復元後の活用が極めて重要です。

県では、耕作放棄地の再生・利用を進めるため、平成21年3月に「千葉県耕作放棄地基本方針」を定め、その中で施策の推進方向の一つとして、「耕作放棄地活用応援団」の育成を掲げました。応援団員は「耕作放棄地の解消を手助けしたい」といった意思のある農業者や一般の県民から募り、市町村等の把握した耕作放棄地の再生・利用を手助けする活動を行ってもらうこととしています。

この応援団は、昨年8月の耕作放棄地解消月間の展開の一環として、全戸回覧のリーフレットやホームページ、県民だより等により、解消や活用の取組みに協力いただける方(個人、企業、団体)を広く募集しました。その結果、12月20日現在で、967名(個人209名、42企業343名、29団体415名)から応募がありました。

## 耕作放棄地活用応援団結団式の開催

応援団の活動を開始するに当たって、応援団員の意識の共有化を図るため、去る平成21年12月20日(かずさアーク)、12月23日(ホテルポートプラザちば)に、千葉県耕作放棄地対策協議会と千葉県が共催で「耕作放棄地活用応援団 結団式」を開催しました。



## 結団式の概要

結団式では、まず「耕作放棄地対策の概要」と題して、千葉県農村振興課から、農業の現状(食料自給率、農地面積・耕作放棄地面積の推移等)や千葉県における耕作放棄地解消対策について、説明するとともに、応援団活動の今後の方向性について、確認しました。

次に、「農業の担い手の現状と耕作放棄地の活用」と題して、NPO法人ちば農業支援ネットワークから、担い手の現状、耕作放棄の発生原因から、耕作放棄地を解消し活用している事例紹介がありました。



# 作放棄地活用応援団

千葉県耕作放棄地対策協議会  
千葉県農林水産部農村振興課地域振興室

次に、「耕作放棄地の再生利用」と題して、(株)南関東クボタから、(株)クボタが全国で実施しているeプロジェクトによる「耕作放棄地再生支援」の情報提供がありました。

県内では、このeプロジェクトにより、平成20年度には匝瑳市と香取市で、平成21年度には我孫子市で耕作放棄地が再生、利用されています。

平成21年10月16日に実施した我孫子市のeプロジェクトによる「耕作放棄地再生支援」活動と併せて、千葉県耕作放棄地対策協議会主催による「耕作放棄地活用現地研修会」が開催され、30年間放棄された農地が、草刈り・耕うん・整地等の作業により、2時間ほどで見違えるような農地に再生され、今後は意欲ある生産者が利用していくことなど、映像を用いた説明がありました。



結団式の最後には、応援団の今後について再確認するとともに、多くの問題を抱えている農政の中で、自分たちのできる事、やりたい事、情報の提供など、活発な意見交換が行われました。

## 最後に

耕作放棄地は一筆ごとに状態も条件も異なることから、各地域に応じた解消活動を行うことが必要です。応援団の活動は、各地域における解消活動の一つの手段、もしくは各地域での取組みのきっかけになればと考えています。県では2月から再生活動研修会(草刈りなどの再生活動、ソバの播種収穫等)の取組みを始める予定です。

一方、平成21年12月15日に農地法が改正され、農振農用地内の耕作放棄地に対する規制が厳しくなりました。今後はそれぞれの地域で耕作放棄地の状況を把握し、担い手等へ積極的な活用を図っていただくとともに、担い手のいない地域については、応援団員と協働した活用も考えたいと思います。

これからの応援団活動が広がりあるものになるよう、皆様のご協力をよろしくお願いします。

eプロジェクト「耕作放棄地再生支援」

(株)クボタが農地への復元整備(草刈り・耕うん・整地など)や作物栽培作業(播種・中間管理・収穫など)の一部を、農業機械とオペレーターの提供を通じて支援するものです。

連絡先

千葉県耕作放棄地対策協議会  
千葉県農林水産部農村振興課地域振興室  
TEL 043-223-2862 FAX 043-225-2479

# 「いずみグリーンビレッジ事業」

「下田農業ふれあい館」が完成しました。  
 ホームページ：<http://shimodafreai.town-web.net/>

下田農業ふれあい館



しもだ農産物直売所



とれたての野菜・果物が  
新鮮で安い!

レストラン「ふるさと薬膳“滞”」

地元自慢の  
手作り料理!



千葉市では、都市と農村を結ぶ「ふれあい交流拠点施設」として  
 を次の世代に継承し地域の農業を守り育てる取り組みを行って  
 この施設は、毎日「地元農家」が一生懸命育てた、安全・安心・新  
 し、郷土食をベースにした体にやさしい料理を提供するレストラン

# の推進



## 都市と農村の交流をめざして

(千葉市農政部グリーンビレッジ推進課)

### 基本目標

若葉区東部鹿島川流域に位置する農業振興地域約4,100haの区域を対象とし、緑空間の保全とともに、農業の振興と交流機能の整備をはかり、地域の活性化をめざします。

千葉市では、地域の元気と活力があふれる場としてこの施設を活用し、積極的に「地産地消と食育」に取り組んでいきます。

### 富田都市農業交流センター



センター内のシバザクラ



### 中田都市農業交流センター

平成22年4月オープン予定



市民農園、他

『下田農業ふれあい館』を開設し、昔から伝えられてきた「食文化」  
ます。  
鮮な農産物を販売する『しもだ農産物直売所』と、地元食材を活用  
『ふるさと薬膳<sup>みお</sup> 漚』で構成されています。

ちば水土里ネット  
女性の会主催の

# 「そば打ち体験」 に参加して

ちば水土里ネット女性の会 副会長  
千葉県干潟土地改良区 渡邊 典子



講師の沼田良治氏



開会に先立ち挨拶する鈴木会長

ちば水土里ネット女性の会の平成21年度事業計画により、9月4日に複式簿記と女性の健康についての第1回研修会を開催し、将来の土地改良区の会計について勉強をしましたが、第2回研修会は、12月3日に会員の交流を兼ねて「そば打ち体験」を実施しました。

いすみ市内に、そば打ち道場「岬そば工房」を開設した沼田良治氏が講師となり、女性の会会員の総勢12名が江戸流そば打ちのご指導をいただきました。

そばは「麺棒」でのばすのですが、研修会開催の前にその麺棒の練習、ネコの手、親指にかけて転がす、延(の)す時には棒の重さを利用して延す、力で延さないと指導を受けました。

そば粉のほとんどは輸入されており、国内産が全体の10%程度でその大半は北海道産であることから、いすみ市産のそば粉は「幻の粉」と呼ばれているというお話でした。

当日は、国内産の上品質なそば粉を用意していただきました。

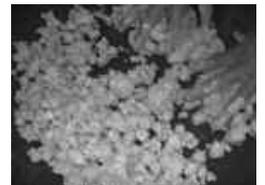
— それでは、体験の開始です。 —

① 最初に手洗いと爪切り

② ボウルにふるったそば粉を混ぜ合わせ、そこに水を加え粉と水をかき回し、よくなじませて混ぜ合わせます。

③ 残りの水を加え、様子を見ながら調整分の水を加えていき、両手で大きく全体の粉を動かします。

④ 全体に十分水が回っていくと粉が自然と集まってきます。



この辺りから生地の色が変わり蕎麦の香りがしてきます

5



菊もみで空気を抜きながら円錐形に生地を整え(へそ出し)、上から押さえて30cm位の平たい円形にします。

へそ出し



丸出し

6

麺棒を使い厚みを半分、大きさを倍くらいに延して(丸出し)から麺棒に生地を巻いて四角く延して(四つ出し)いきます。長方形で厚みが均等になるように仕上げます(本のし)。



四つ出し



本のし

ネコの手で麺棒を転がすのが難しかったです。

7

四角くなった生地に打ち粉をしながらたたみ、1.5mm位の幅に切ります。



8

大きめの鍋にたっぷりのお湯を沸かし、そばをほぐしながら入れる。表面にそばが上がってきたら強火で1分程度茹で、ざるに上げ、冷水で一気に冷やす。ぬめりを取るため2~3回揉み洗いし、冷水をかけ、水を切って出来上がりです。



私たちは5人前の粉を混ぜてそばを切るまで、1時間ちょっとの行程でしたが、名人になるには15人前の粉の準備から後片付けまで50分程度で仕上げるそうです。

おいしく茹でるコツは、たっぷりのお湯で1人前ずつ茹でることだそうです。

喉ごしの良さに魅せられてそば打ちの技を磨いていらっしゃる沼田氏にご指導をいただきとても感謝しています。

手打ちの良さ、打ち立て、茹で立ての美味しいおそばを女性の会の会員の方と一緒に参加し食することができ、良い体験ができました。

今回は講習会場がいすみ市ということで、参加出来る方が限られてしまったようで、大変申し訳ありませんでした。出張講習もしていただけるようですので、もし、ご希望が多くあるようでしたら、他の場所での開催も検討していきたいと思えます。

また、事務局では、出来るだけ多くの会員の方々に参加していただけるように、研修会・講習会を企画していきたいと考えておりますので、『こんな所でこんなことが体験出来ます』や『あんな所であんなことが出来るみたいです』など、会員の皆様よりご意見や情報をお待ちしております。

ちば水土里ネット女性の会事務局  
TEL 043-241-6639  
(水土里ネット千葉 管理指導部)

# 「ふるさとのお田んぼと水」 子ども絵画展 2009



今年も全国各地から千葉県から7点、また、地域されました。入心からお祝いってほしいと

## 全国農業協同組合中央会会長賞



「米の花」  
染谷 翔さん  
(野田市立川間小学校 6年)



みずみずしく初々しい作品だ。ミクロな目線でよく観察している点に驚かされた。それをデフォルメして表現したことにセンスを感じた。色もま

とまっていて、きれい。稲の花は夏のほんのわずかな時期、午前中の1～3時間の間だけ開くという希少なもの。その貴重な開花を幻想的雰囲気仕上げた点が素晴らしい。(審査員の講評より)



## ふるさと水と土優秀賞



「かるがも親子のお田んぼのおさんぽ」  
石塚 史華さん  
(野田市立川間小学校 3年)



何よりカルガモの親子がかわいらしい。カモの配列がうまく構成されており、見ても楽しい絵となった。実際のカルガモは黄色ではないのに黄色で

表現し、田んぼの水も青で表現してあることから、色感の良い子ではないかと感じた。しかも、本物の稲であろうか、それをコラージュで貼っているのも心にくい。(審査員の講評より)



地から14,204点の応募があり、審査の結果、入賞23点、入選104点、地域団体賞66点が決まりました。は、入賞として「全国農業協同組合中央会会長賞」と「ふるさと水と土優秀賞」に併せて2点、入選作品に団体賞として東葛北部・北総東部・安房中央・両総、それぞれ水土里ネットの団体賞に併せて14点が入選賞者には、11月7日(土)に行われた授賞式において賞状と記念品が手渡されました。申し上げます。これからも、自然とふれあい、自然を守り、生命あるものへの思いやる美しい心を育み成長し願っています。そして、また、絵を描いて応募していただければと思います。

## 「ふるさとのたんぼと水」子供絵画展2009

入賞作品については、全国水土里ネットのホームページで見ることができます。

**入賞** 全国農業協同組合中央会会長賞 <http://www.inakajin.or.jp/04kiroku/kodomokaiga/pict2009/prize06.html>

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
米の花	染谷 翔	野田市立川間小学校	6年

ふるさと水と土優秀賞 <http://www.inakajin.or.jp/04kiroku/kodomokaiga/pict2009/prize08.html>

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
かるがも親子のたんぼのおさんぽ	石塚 史華	野田市立川間小学校	3年

**入選**

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
おこめと たんぼのいきもの	伊藤 るり	鴨川市立太海小学校	1年
いつもみてるよ	澤田 拓巳	野田市立木間ヶ瀬小学校	2年
ふるさとの夏	下田 有紗	野田市立柳沢小学校	4年
たんぼのゆかいな仲間達	池松真里奈	野田市立川間小学校	5年
ふるさとたんぼと水	高山 紗英	成田市立向台小学校	5年
大好きな場所	澤田 美月	野田市立木間ヶ瀬小学校	6年
水路に映る鉄塔	渡辺悠太郎	成田市立公津の杜小学校	6年

**地域団体賞**

団体名	団体賞	作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
水土里ネット 東葛北部	水土里ネット東葛北部理事長賞	おばあちゃんの家から見た風景	須貝祐梨菜	野田市立二ツ塚小学校	5年
	水土里ふるさと金賞	土にひろがるスイカ	長塚 優音	野田市立柳沢小学校	1年
	水土里いきいき銀賞	夕やけのたんぼ	黒尾丸 葵	野田市立木間ヶ瀬小学校	4年
	水土里すこやか銅賞	たんぼとつくば山	国府田有紀	野田市立二川小学校	2年
北総東部 土地改良区	ゆたかな北総最優秀賞	おじいちゃんのお手つだい	石毛 裕貴	旭市立中和小学校	3年
	ゆたかな北総優秀賞(低学年)	たんぼ	大極 楓	旭市立中和小学校	1年
	ゆたかな北総優秀賞(3年生)	ゆたかな みどり	加瀬 智也	旭市立中和小学校	3年
	ゆたかな北総優秀賞(4年生)	大きなスイカがとれた	石毛 美咲	旭市立中和小学校	4年
	ゆたかな北総優秀賞(高学年)	ホタルと花火	保科 浩貴	香取市立津宮小学校	5年
水土里ネット 安房中央	水土里ネット安房中央理事長賞	ぼくのうちの畑のまわりにいる虫たち	須田 隆司	館山市立九重小学校	1年
	安房土地改良協会会長賞	いろんな虫たちがくるたんぼ	小澤 未来	館山市立九重小学校	2年
	安房農林振興センター所長賞	自ぜんを守るう	川田 桜子	南房総市立丸小学校	3年
水土里ネット両総	水土里ネット両総理事長賞	私の町の工夫～休耕田で大豆作り～	戸田南々帆	東金市立福岡小学校	5年
両総用水推進協議会	両総用水事業推進協議会長賞	生きものいっぱい!楽しい田植え	窪木 響	香取市立湖東小学校	1年

# 新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願いたします。

今年は寅年です。昨年「丑」で植物の芽が出て、そして「寅」には、春が来てその芽がやっと芽吹いてきた生命が台地に根をはりしっかりと物事の土台が固まっていくことを意味。そんな寅年生まれの年男たちに今年の抱負を語ってもらいましたので紹介します。

## 新年の抱負

換地測量部 西ヶ谷 康夫(昭和25年生まれ)



新年あけましておめでとうございます。

月日のたつのは早いもので、気がつけば今年で5回目の年男。更には5月で還暦を迎えることになってしまいました。

今年の抱負というより、良く還暦を迎えられるまでみなさんの足を引っ張らずに勤め上げられたなーと、我ながらちょっと感心いたしているところです。

これからも、若い人に負けず好きなトライク(三輪バイク1500cc)ツーリングと仕事で、人生を満喫させていくつもりです。

なお、ツーリング中に見かけましたら、一言、声をかけて下さい。

最後になりましたが、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

## 新年の抱負

管理指導部 高石 昌浩(昭和37年生まれ)



新年、明けましておめでとうございます。

現在は、平成19年度から始まった農地・水・環境保全向上対策を担当しています。昨年は、県内300余りの活動組織の方々との顔合わせを行い、その際に現在の農村における処々の問題点を痛感しました。多くは、農業従事者の減少、高齢化の進展、農業所得の激減、鳥獣害による農作物の被害等、様々な事をお聞きました。一朝一夕では解決する問題ではとてもありませんが、今年は、これらの問題を現在の立場で、少しでも解消できるよう微力ながらお手伝いできればというのが、本年の抱負です。

本年も、健康に十分留意してみんなの宝である農村を守っていきましょう。

# 年男たち集まれ!

成長し草木が生ずる状態を表しており、  
しているようです。

## 新年の抱負

技術部 竹下 正寿(昭和49年生まれ)



新年明けましておめでとうございます。

早いもので社会人になって二度目の年男を迎えました。

私は年末年始を実家で過ごしますが、年越しはここ十数年決まって青年会の先輩や後輩達とお酒を飲み交わしながら新年を迎えています。

私の地元では20年程前から青年会が中心となり、地元の神社へ初詣に来られた方々に豚汁を振る舞うサービスを行っており、これが私の初仕事でもあります。

都会のような華やかさはないものの、特設テント内に設けられた七輪を囲んで豚汁を頬張る子供たち、日本酒を片手に昔話を語るお年寄り、昭和を感じさせる光景が私は好きです。

しかし、私の地元も残念ながら若者離れが目立つようになりました。

親が健在なうちに実家に戻り、子供は田舎で育てよう…そんな決意を固めた年ですが、果たしてどうなるのか…。

本年も宜しくお願い致します。

## 新年の抱負

換地測量部 井上 康一(昭和61年生まれ)



私は映画が好きで、正月休みの間、10本程、映画を観ました。

観た映画の半分はビル・マーレイという私の好きな俳優が主役・脇役として出演しているものです。

私が彼を好きな理由は、主役である時もあれば、脇役として5分くらいしか出演しない、といったどんな時でも、適材適所に配役を演じるどころや、普段はシュールな喜劇俳優である彼が、じわりと切なくなるような物悲しい話の主演を上手く務める、といった作品の環境に応じて、(自然体な雰囲気を残しつつ)臨機応変に対応しているところです。

私は、社会人になったという事も含め、自分を取り巻く環境が日々変化していくのを感じます。

人生は変化の連続であり、時には主役を演じたり、多くが脇役に当たる事もあると思います。

私は自ら歩む時間の中で、どのような状況に直面しても自然体のまま、生まれた環境の中で十二分に対応しながら、その変化を楽しんで生きたいと感じます。

私がこれからの目標としたビル・マーレイ的生き方が、個人的な生活の場のみならず、職務に際しても活かされる事があれば幸いです。

# 第13回 千葉の水回廊ウォーク

## & 疏水百選 印旛沼ウォーク

のご案内

花見川 - 新川 - 印旛沼の水回廊は、  
「美しい日本の歩きたくなるみち500選」の道筋です。

印旛沼は、私たちの生活や国土を潤す「みずのみち」として先人によって築かれたもので、日本の「疏水百選」に認定されました。この悠久の道につながる水辺、桜、花木、水田風景、野鳥の声など心地よい自然に触れながら歩きを楽しみましょう。

1. 実施日 平成22年4月3日(土曜日) 雨天決行

2. 歩行内容 (雨具、帽子、昼食、健康保険証などは各自ご持参ください。)

	40kmコース	20kmコース	10kmコース
集合場所	新検見川公園( JR総武線新検見川駅 徒歩2分 )		
集合時間	8時 [ 出発8時15分 ]	9時 [ 出発9時15分 ]	
ゴール	京成酒々井駅前 (JR酒々井駅徒歩9分) 受付は13時30分 ~ 17時迄	京成ユーカリが丘駅 ゴール地点は検討中 受付は12時30分 ~ 16時迄	大和田排水機場 (京成大和田駅徒歩12分 " 勝田台駅徒歩15分) 受付は11時30分 ~ 13時30分迄
歩行方法	コース地図と矢印標識を見ながら各自のペースで歩く自由歩行です。 なお、10kmコースでは、周辺の農業施設等の解説を聞きながら歩く、ガイド付き団体歩行の予定もあります。		

コースについては、地図を参照してください。

大和田排水機場では、農産物の販売( 水土里ネット印旛沼 )や(独)水資源機構千葉用水総合事業所主催の「さくら祭」が行われ、昼時に豚汁のサービス(数量限定)などが予定されています。

3. 参加費 500円(コース地図、完歩証、傷害保険料、飲料水、農産物など)

4. 参加申込 当日、会場で受付します。

水土里のガイド付き団体歩行の受付も当日、会場で行います。(先着50名様)

5. 免責範囲 参加者は事前に健康診断等を受けて、万全の体調のもとに、参加してください。  
万一事故が発生した場合、主催者は保険による適用範囲以外の責任は負えません。

6. 問合せ先 ちば歩こう会 TEL 080-3421-0267 (担当 田口)

水土里ネット印旛沼 TEL 043-484-1155 (担当 小倉)

千葉県印旛農林振興センター基盤整備部

TEL 043-483-1131 (担当 高見沢、宮本)



# 謹賀新年

本年もより一層のご指導ご支援を  
賜りますようお願い申し上げます。

千葉県土地改良事業団体連合会



会 長 菅 谷 健 一  
副 会 長 八 角 文 雄  
副会長常務理事 豊 川 忠 幸  
外 役 職 員 一 同

水土里ネットちば 286号 (平成22年1月20日発行)



発 行

水土里ネット千葉 (千葉県土地改良事業団体連合会)  
〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地5  
TEL.043-241-1711(代) / FAX.043-248-2563(代)

印 刷

株式会社ニッセイアド  
〒264-0026 千葉市若葉区西都賀4-18-3  
TEL.043-206-7752 / FAX.043-206-7753